



## 文部科学大臣賞を受賞

「ぽ☆ら☆り☆す」と「とらいアングル」の一体的な取組が評価

優良なコミュニティ・スクールの取組を表彰する文部科学大臣賞をぽ☆ら☆り☆す（学校運営協議会）とコミュニティ・ハウス（地域学校協働体本部）が受賞し、2月3日に東京・虎ノ門にある文科省大講堂で行われた表彰式に会長が参加してきました。

表彰のテーマは「コミュニティ・スクールと地域学校協働体の一体的推進」です。コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会（ぽ☆ら☆り☆す）と、その実働部隊である地域学校協働活動（とらいアングル）の一体的な取組が評価されたものです。

表彰式では、永岡桂子大臣代理の築和生副大臣より全国から選ばれた団体へ表彰状が手渡され、記念撮影が行われました。群馬県からは私たち「ぽ☆ら☆り☆すとコミュニティ・ハウス」の他、高崎市、伊勢崎市、高山村の協議会・協働本部が選ばれました。

2月14日には受賞の報告を田中教育長に行い、受賞を喜ぶとともに、今後の取組みについて活発な意見交換ができました。



裏面もご覧ください



【問い合わせ先】

藤岡市立北中学校 学校運営協議会広報部

☎ 22-1352 FAX 22-1353

# 学校評価アンケートを実施しました

北一貫校の3校では、子どもたちがより良い学校生活を送れるように学校が設定した目標に対して、その達成状況や取組の適切さ等を評価するアンケートを毎年12月頃に行っています。この結果を踏まえて課題を見つけ、その改善に取り組んでいきます。

アンケート結果を受け学校が提示した今後の改善点「もっと!」

1. 地域・保護者への情報発信と連携協働
  - 「もっと1」 一貫校の目指す子どもの姿やその取組を知ってもらう  
「一貫校リーフレット」・「キャリアアップパワープラン」
  - 「もっと2」 読書:毎月第4土曜日「家読(うちどく)の日」を推奨する
2. いじめ防止の取組
  - 「もっと1」 いじめ予防の取組を地域・保護者との連携・協働で行う
  - 「もっと2」 いじめ問題解決に向けた教育懇談会への参加者を増やす
  - 「もっと3」 SNSをはじめメディア・ネットモラルの指導を充実させる

令和4年度 北連携型小中一貫校 9年間の学びの全体像

## あふれる知性、豊かな心、たくましい気力・体力をもつ子どもの育成

### 未来を生きる力を育む

	小1～小4 「基礎期」	→	小5～中1 「充実期」	→	中2～中3 「発展期」
<b>学び</b>	課題に対するあてや学習の見直しをもつ 自分の考えを持ち、自分の言葉で伝える 他人の考えのよさに気づく		自分で課題を見つけ、その解決に取り組む 根拠を明らかにして自分の考えを伝え、相手の考えと比較する 友達と話し合い、聞き合う中で、考えを深める		既習事項との比較や学び合いから様々な見方や解決方法を考える 共通点や相違点を意識して互いの考えを生かし、高め合う 協働的な学び合いにより、考えを広げ深める
<b>一貫した手立て</b>	学びのつながりを踏まえた授業スタンダードによる授業の実施 系統表(9年間を見越した学習計画)の活用		つなご教材の活用		単元(学習のひとかたまり)の計画を重視 読書の推進(朝読書・読み聞かせ) 1人1台タブレットPCの活用 小中一貫教科部会の充実
<b>心</b>	協力し合って楽しい学校づくりに意欲的に取り組む 周りに優しく接する		信頼し支え合って豊かな学校づくりに自主的に取り組む 誰に対しても相手の立場に立った言動をとる		仲間や地域と共に学校づくりに自発的に取り組む 自分を支える多くの人に感謝し、それに応える
<b>一貫した手立て</b>	「よさを認め、ほめ、伸ばす」指導【ネームプレートの活用】 「児童会・生徒会」合同会議の実施【いじめ撲滅に向けた取組☆ハッピーはあどふる活動】		児童会・生徒会活動の活性化【子どもの主体の活動☆SDGsに関わる活動】		学びのつながりを踏まえた道徳・人権教育の充実
<b>たくましく</b>	進んで体を動かしていろいろな遊びをする 早寝早起き朝ご飯を実践する		多様な運動に関心をもちチャレンジする 健康的な生活に関心をもつ		自分の身体について理解し自ら運動を続けようとする 健康的な生活を自ら考え実践する
<b>一貫した手立て</b>	運動好きの子どもを育てる体育授業 基本的な生活習慣の確立～「ヘルスアップウィーク」の実施～		主体性を育む行事(運動会・体育祭等)の実施 満点朝ご飯メニューづくり(中)・食育指導		クラブ活動・部活動の充実 感染症予防教育 SNS・情報モラル教育 かもしれない運動
<b>社会で生きる</b>	自分の好きなこと、得意なことを増やし、様々な活動への興味・関心を高め、友達と協力しながら、意欲と自信をもって活動する		友達とよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割を自覚し、集団の中で役立つ喜びや自分への自信につなげる		自己と他者の個性を尊重し合い、社会の一員としての義務と責任を理解する 自分の夢の実現に向けた具体的な手立てを考え、努力する
<b>一貫した手立て</b>	自分のよさや役割の自覚 将来の夢やあこがれ～具象的な将来設計		自分と友達の個性を尊重し合う人間関係 チャレンジウィーク・地域隊(地域とともに歩みます)		未来を生きる力を育む教科指導の充実 9年間をつなぐキャリアパスポートの充実 みそあじ(身だしなみ・そうじ・あいさつ・時間を守る)運動の徹底【社会生活の基礎】

北一貫校の目指す子ども像



## ◇ Hi! 「コミュ」と申します。 No.11 ◇



わ! 「文部科学大臣賞」 だって! 児童生徒、教員、保護者だけでなくって地域の人々も関わって学校を支えて行く、ってまさにそれがコミュニティ・スクールだね!

取組が認められて受賞につながったのも、皆さんのおかげです! ありがとうございます。でも、前回からコミュは「キャリアアップパワープラン」ってというのが気になってるんだ。子ども達が将来社会に出てからきちんと働きながら自立して行かれるようになるためのプラン、ってことらしいけど、「できる時に、できる人が、できることを」って、具体的にどうしたらいいのかな? これからも、この「ぽ☆ら☆り☆す通信」で発信するので、一緒に考えてもらえるとうれしいな!